

備前市事務事業評価表

事務事業名	旧閑谷学校世界遺産登録推進事業		コード	担当課係	生涯学習課文化係
			03-03-02-02	担当者	福本浩子
事業実施期間	平成17年度～		電話	0869-64-1841	
総合計画 事業（政策）体系	大項目	地域文化と人が輝くまちづくり			
	中項目	歴史と文化の輝くまちづくり			
	小項目	文化財の保存と活用			
	施策	旧閑谷学校世界遺産登録の推進			

事業について	
目的	閑谷学校の建造物とその創学の精神を受け継ぎ、未来の世代へ継承するために世界遺産への登録をめざす。
対象（誰のために）	市民のため。
内容	閑谷学校世界遺産登録推進委員会総会の開催 署名活動

事業の結果				
実施項目	17年度			
	回数など	回数など	回数など	回数など
総会参加者	47人			
署名件数	108,975件			

事業費 (単位：千円)	事業費		財源		事業費		財源	
	直接事業費	10	国庫補助金等		直接事業費		国庫補助金等	
	人件費	1,715	受益者負担		人件費		受益者負担	
	合計	1,725	一般財源等	1,725	合計	0	一般財源等	0

必要人員	0.20	人				
結果指標名	総会・記念講演参加者数					
結果指標量	47					
単位	人					
対前年比	—		0.00%			
事業費	1,725,000	円				
単当たりコスト①	36,702	円				

結果指標名	署名件数					
結果指標量	108,975					
単位	件					
対前年比	—		0.00%			
事業費	1,725,000	円				
単当たりコスト②	16	円				

事業の成果			
成果指標名	署名件数	式又は説明	署名件数
成果指標量	17年度 108,975		
対前年比	—	0.00%	
到達目標値	100万	到達目標年度	平成30年度

(平成17年度事業)

事務事業の評価		
目的・対象・内容の妥当性評価	目的の妥当性	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である 関係法令等：
	対象の妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である
	市民ニーズの妥当性	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である
効率性の評価	コストの効率化	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である
	手段の最適化	<input type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input checked="" type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている
	職場の効率化	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input type="checkbox"/> 事業実施について職員の見解・要望が反映されやすい
有効性の評価	目的達成度	<input type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している
	成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある
	市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している <input type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている

総合評価	<input checked="" type="checkbox"/> 閑谷学校世界遺産登録推進委員会や旧閑谷学校顕彰保存会等と協議を重ねながら、登録に向けた取組を行わなければなりません。しかし、登録を目指すには、文献、建築、考古などの研究組織を整えたり、緩衝地帯の確保、文化庁や岡山県の積極的バックアップ、膨大な予算の負担など多くの課題があります。	評価区分 <A~E> D
------	---	---------------------------

今後の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する <input type="checkbox"/> 完了・統合		
翌年度結果指標量①	50人	結果指標量②	114,000件
目標値	結果指標量	114,000件	

改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
有効性	世界遺産登録に取組み、暫定リストに記載された地域から講師を招き、多くの人に今後の取組について考える機会を影響する。	平成18年度	実際に世界遺産登録へ向けて必要な具体的取組みがわかる。

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

旧閑谷学校世界遺産の登録を目指すことを目的として立ち上げられた事業であるが、世界遺産登録までは数多くの課題や問題をクリアしていかなければならず、現在のままでは目的を達成することは難しい。

事業費は、補助金と人件費だけである。暫定リストに載っている「石見銀山」などに比べ、組織・予算・推進方法など具体的なものがない。世界遺産登録をめざすのであれば、体制を整える必要があり、コストはかなり増加する。暫定リストに記載されても世界遺産に登録されるまでは、さらに5～10年はかかる。

署名数が増えるだけでは、世界遺産へ登録されることは難しいが、閑谷学校の知名度をあげていくことは必要。